

会議名 財務常任委員会

日時 令和4年3月25日(金) 午後1時40分～午後2時9分

場所 第2・第3委員会室

出席議員(14名) 委員長 黒川 武 副委員長 水野忠三 委員 梅村 均  
委員 片岡健一郎 委員 鬼頭博和 委員 谷平敬子  
委員 大野慎治 委員 宮川 隆 委員 須藤智子  
委員 井上真砂美 委員 関戸郁文 委員 堀 巖  
委員 木村冬樹 委員 榊谷規子

欠席議員 なし

説明員 総務部長 中村定秋、健康福祉部長 山北由美子、建設部長 片岡和浩、消防長 岡本康弘、教育こども未来部長 長谷川忍、総務部専門監 奥井博昭  
秘書企画課長 秋田伸裕、行政課長 佐野剛、同主幹 井手上豊彦、福祉課長 石川文子、同主幹 小南友彦、商工農政課長 竹井鉄次、同統括主査 今枝正継、学校教育課長 近藤玲子、同学校給食センター所長 田島勝己

事務局出席 議会事務局長 丹羽至、同主事 丹羽亮二

付議事件及び審議結果

議案番号	事件名	採決結果
議案第34号	令和4年度岩倉市一般会計補正予算(第1号)	全員賛成 原案可決

財務常任委員会（令和4年3月25日）

◎委員長（黒川 武君） 委員及び関係者の皆さんおそろいでございますので、ただいまから財務常任委員会を開催いたします。

当委員会に付託されました案件は議案1件であります。

審査に入る前に、当局から挨拶をお願いします。

◎総務部長（中村定秋君） 毎回のように最終日に追加で補正をお願いしております。

今回、高齢者交通系ICカード、あとプレミアム商品券につきましては、市の独自支援策検討チームの検討を経て予算化をお願いするものでございます。よろしく願いをいたします。以上です。

◎委員長（黒川 武君） ありがとうございます。

それでは、審査に入ります。

議案第34号「令和4年度岩倉市一般会計補正予算（第1号）」を議題とします。

当局の説明はいかがいたしましょうか。

〔「省略」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（黒川 武君） 当局の説明を省略し、直ちに質疑に入ります。

質疑は、歳出から入ります。

初めに、款2総務費についての質疑を許します。

質疑はございませんか。

◎委員（宮川 隆君） すみません、細かい話で申し訳ないんですけども、このICカードの関係で、これって物が物なので、中に埋め込まれている情報というものとは別に、マナカのICカードそのものが記名式か無記名式かによってその後の対応が変わるんですけども、どのようなものになりますか。

◎秘書企画課長（秋田伸裕君） 今回配付するものは記名しないもので配付する予定です。

◎委員（宮川 隆君） 市の事業とは直接関わりはないんですけども、無記名式ですと、利用したものに対しての後のポイントの還元というのがないんですね。それで、一つにはその取扱いに関してのもの、例えば鉄道系の窓口でそういうものを発売した場合には、そういうことがかなり詳しく書かれた冊子をお渡ししております。それで、このポイントは2年間有効なんですけれども、私の知る限りでは十数万円分のポイント還元が窓口で結構頻繁にありますので、そういう後々の利用者の利便性を考えるのであれば、何らか

の周知の在り方、もしくはどこに行けばこういうことが分かりますよということぐらいは広報していただけるとありがたいなと思うんですけども、いかがでしょうか。

◎秘書企画課長（秋田伸裕君） 今質問のあったことも踏まえまして、この後マイナポイントの予約支援の窓口のほうもお願いしますが、そちらのほうでもそういった案内はしていきたいというふうに思いますので、そういったことで高齢者の方が使い方や、そういう利益を受けられるような形で支援していきたいというふうには考えております。

◎委員（片岡健一郎君） お願いします。

主要事業説明資料のほうの積算根拠の中に、使い方の資料の作成ということで予算が計上されております。このICカードを既にお持ちの方は特に問題ないと思うんですけども、これを機に初めて使われる方も多く市民の方の中にはお見えだと思います。そういった方への、初めてのということ、使えるところだったりとか、交通で使えるとか、またチャージの方法とか、そういったことも必要かなあとと思いますけれども、そういった使い方の資料作成の詳細をどのように今お考えなのか、お聞かせいただきたいとします。

◎秘書企画課長（秋田伸裕君） 詳細についてはこれから打合せはしていきますが、やはり対象者が75歳以上ということで、分かりやすいものを作る必要があるなというふうに思っております。文字数をなるべく少なくしたりだとか、例えばチャージできる場所だとか、あと公共交通機関で使うときの使い方なんかも写真入りで分かりやすくだとか、あと使える場所なんですけど、なかなかこの店舗で使えますというのは把握というのは難しいんですけど、こういったマークがあるところでは使えますだとか、そういった形で分かりやすい資料を作りたいというふうに思っております。

◎委員（片岡健一郎君） ありがとうございます。

とはいえ、文章だけではなかなか分からない方も見えると思います。市役所のほうに問合せも来るとは思いますけれども、その辺の体制というのはどのようにお考えでしょうか。

◎秘書企画課長（秋田伸裕君） もちろん問合せが来れば問合せにはお答えしますし、先ほどのマイナポイントの支援のところでもそういったことも御説明できるかと思っておりますので、分かりやすい体制づくりに努めたいなというふうに思っております。

◎委員（大野慎治君） この事業についての広報等でのお知らせは検討されているのでしょうか。

◎秘書企画課長（秋田伸裕君） はい。広報のほうでも周知をしていきたい

というふうに考えております。

◎委員（木村冬樹君） 今の質疑を聞いていますと、何かもう特定の交通系 I Cカードになっていくのかなというふうに思っていますけど、先ほど既に持っている方の話もありましたが、既に持っている方、2,500円分の電子マネーをチャージしたものを配付するということですので、既に持っている方に対する対応はどうするのか。あるいは、交通系 I Cカードというのはいろいろあるものですから、その他のものを持っている人たちもいるわけで、そういった人たちへの対応はどうなるのか、こういった点についてお聞かせください。

◎秘書企画課長（秋田伸裕君） 今回の交通系 I Cカードにつきましては、マナカのほうを考えております。これを選んだという理由は、やはり市の中を名鉄が通っていますし、名鉄バスとか名鉄のタクシーもありますし、そういった意味でいうと使う機会としては結構あるんじゃないかなあというふうに思っております。

既に持ってみえる方についてということなんですけど、今回の I Cカードの配付につきましては、キャッシュレス化と同時に生活支援というところもありますので、中に入っている額面を使っていただいて、持っている方については、それは返却していただくとまたそれで500円の現金としていただけるものですから、そういった形で使っていただくことも考えておりますし、あとは持っているので辞退したいということであれば、それはそれでこちらでもお受け取りをするような形で対応していきたいというふうに思っております。

◎委員（木村冬樹君） 2,500円分の電子マネーをチャージするものだから、なるべく平等にきちんと、別に全部配付して、その他のを保持したとしても配付するというのであればそれで私はいいいというふうに思いますけど、そのような対応をお願いしたいと思います。

もう一点、マイナポイント予約申込支援業務委託料についてお聞かせください。マナカということでもう特定がされてきている中で、ここの業務の委託するところも既に検討されているんでしょうか。どういった形で委託していくのかお聞かせください。

◎秘書企画課長（秋田伸裕君） 委託会社についてはもう想定はしておりますけど、マナカのその後の手続だとかそういったことがあるものですから、発行の委託をするところと同じところで考えております。

◎委員長（黒川 武君） 他に質疑は。

◎委員（梶谷規子君） 専用窓口はどこに置いていくんでしょうか。約2か

月間の期間限定ということですが、マイナポイントの予約申込支援専用窓口ですけど、どの期間を今考えられているのでしょうか。

◎秘書企画課長（秋田伸裕君） 場所としましては、市役所の2階の会議室1、期日前投票をやるあの部屋ですね、そこを一応考えております。7月には参議院選挙を予定されておりますので、それが終わった後にそちらに開設できるようなスケジュールで検討をしているところです。

◎委員長（黒川 武君） 他に質疑はございませんか。

[挙手する者なし]

◎委員長（黒川 武君） 以上で、款2総務費についての質疑を終結します。続いて、款3民生費についての質疑を許します。

質疑はございませんか。

◎委員（木村冬樹君） この新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金というのは、昨年の6月定例会の最終日の補正だったと思いますけど、ここに出されたものだというふうに思います。

それで、ちょっと思い返していかなきゃいけないですけど、単身者が月6万円、2人世帯が月8万円、3人以上の世帯が月10万円ということで、3か月を限度に支給されるという中身だったと思います。

それで、お聞きしたいのは、そのときもお聞きしましたが、社会福祉協議会の実施している緊急小口貸付け、まだ今やっているのかどうか分かりませんが、そういったものとか総合支援資金の貸付けというのがどのぐらいの件数まで増えてきているのかなあというところと、結構な額の補正になっていますので、6月の補正の額と比較しても、それぐらいやっぱりまだ大変な人たちが多いというふうに市が見ているのかどうか、この辺についてもお聞かせください。

◎福祉課長（石川文子君） 社会福祉協議会が行っております貸付けにしましては、緊急小口資金につきましては、2月末で申請のほうは236件、総合支援資金につきましては、初回が220件、延長が27件、再貸付けが138件というふうな実績になっております。

この自立支援金の支給事業を開始した6月時点のときには、対象者はこの総合支援資金の再貸付けを終了した人、これ以上貸付けができないよといった方が対象になっているということでした。この間、少し対象者のほうも拡大がされておまして、緊急小口資金、また総合支援資金の初回を借り終えた方も対象にしますよというようなことになっております。そういったところもございまして、今回の見込みを立てるときには、これまでの貸付申請率といったものを見ながら見込みを立てさせていただいて、計上させていただ

いたということになります。

◎委員長（黒川 武君） 他に質疑はございませんか。

〔挙手する者なし〕

◎委員長（黒川 武君） 以上で、款 3 民生費についての質疑を終結します。

続いて、款 6 商工費についての質疑を許します。

質疑はございませんか。

◎委員（片岡健一郎君） 令和 2 年、3 年度に続き 3 回目ということだと思います。事業者からのアンケートでもこのプレミアム商品券が非常に効果的だということも受けての 3 回目だと思いますが、前は 3 万セット販売しております。まずはこちらの実績、3 万セット中どれぐらい売れたのかということでお伺いいたします。

◎商工農政課長（竹井鉄次君） 約 2 万 6,000 セットになっております。

◎委員（片岡健一郎君） ありがとうございます。

完売はしていなかったようなんですけれども、今回はそれ以上、それにプラス 1 万の 3 万 6,000 ということで、この 3 万 6,000、ぜひなるべく完売してほしいなあというふうに思っているんですけれども、前回から異なる何か手法で広報を考えられているのか、その辺の、3 万 6,000 セットを売り切る何か工夫というのが、今のところ考えられていることがあればお聞かせいただきたいと思います。

◎商工農政課長（竹井鉄次君） 前回、3 万セットを用意させていただいて 2 万 6,000 程度が売れたと。今回につきましては、大学生の方には、いわゆる 19 歳から 24 歳までというところの方が見える世帯については、お一人、いわゆる 2 冊をお買いただけということなんですけれども、こちらの方については 4 冊買っていただいてもいいというようなやり方をさせていただいて、少しそういった大学生の方にも恩恵があるような形を取っていききたいなというふうに考えているところでございます。

また、この使用期間ですね。前回に比べて、夏休みを使用期間として入れることですか、前回よりも 2 週間程度長くお使いいただけるような期間を設定するか、そういった工夫を今のところ検討させていただいております。また、この商品券をお使いいただける店舗のほうも、商工会さんと協力しながら、さらに多くの店舗でお使いいただけるように、そういうことが多くの購入につながるというふうに考えておりますので、そういったことに努めてまいりたいなというふうに今のところ考えております。以上です。

◎委員（大野慎治君） 昨年に引き続きプレミアム商品券を予約販売でのみしていますが、他市町によっては追加販売しているんですね。追加販売し

てできるだけ売り切ろうということを考えられていますが、今年度は追加販売は検討されているのか、していないのか、お聞かせください。

◎商工農政課長（竹井鉄次君） 追加販売というか、初めに3万6,000冊を作ったというふうに考えておりますが、余った分についての、いわゆる令和2年度に行いました一般販売というのは現在のところは考えていないという現状でございます。と申しますのも、前回一般販売をさせていただいたときに、朝早くから多くの方が販売先に並ばれて、非常に窓口も混雑したり、こういうコロナ禍でありますので、密な状態もつくってしまったりといった反省点がございましたので、今回についてもやはり予約販売のみでさせていただくというのが、こういった状況下でもございますので、よろしいのかなというふうに思っています。前回は、特に、いわゆる販売を委託していた郵便局さんの窓口において、密な状態になったり、混雑するといったようなことがありませんでしたので、そういった点も踏まえ、予約販売のみでやらせていただきたいというふうに考えてございます。以上です。

◎委員（大野慎治君） じゃあ、もう一点だけお聞かせください。

いつ頃から予約ができるようになるのかお聞かせください。

◎商工農政課長（竹井鉄次君） 予約の受付期間は、現在のところ6月1日から2週間程度を予約の受付期間として想定をさせていただいております。以上です。

◎委員長（黒川 武君） 他に質疑はございませんか。

◎委員（梶谷規子君） 今回、前回よりも店舗を増やしたいというふうに先ほどの質疑での答弁があったんですが、前回事前に申込みのあった市内の店舗が何店あって、どれぐらい多くという見込みをされているんでしょうか。

◎商工農政課長（竹井鉄次君） 前回につきましては、使用可能店舗数が235店舗でございました。相当多くのところをこれで網羅できているというふうには考えておりますけれども、まだ使用可能店舗として手を挙げていただけなかった店舗さんに対して、粘り強くというのか、ぜひ参加してほしいということをお願いをしていきたいと思っておりますが、これぐらい増やしたいというのは今のところは具体的に持ってはおりません。

◎委員（木村冬樹君） 今回、先ほど説明があったように、大学生等の若年者に対する、19歳から24歳までの人たちに4セットまで購入可能ということで行われるということが新しい取組かなあと思っておりますが、これまで子どもへの給付金だとか、あるいは住民税非課税世帯への給付金などがあって、大学生に対する何らかの手当が必要だなというふうに議会でもいろいろ議論はしていたところでありますが、今回、購入可能という形になっていきます

ど、例えば交付するだとか、そういうことは検討はされなかったんでしょうか。それについてどのような検討がされたのかお聞かせいただきたいと思います。

◎総務部長（中村定秋君） コロナの支援策検討チームの中でもそうした検討は行いました。やはり何もせずに送られてくるとなかなか使わないんじゃないかとかそういった議論もあって、自分で意思を持って購入していただくことでより利用につながるのではないかという議論で、結果としてこういった形になりました。

◎委員長（黒川 武君） 他に質疑はございませんか。

〔挙手する者なし〕

◎委員長（黒川 武君） 以上で、款6商工費についての質疑を終結します。続いて、款9教育費についての質疑を許します。

質疑はございませんか。

暫時休憩します。

（休 憩）

◎委員長（黒川 武君） 休憩を閉じ、会議を再開します。

◎委員（井上真砂美君） 給食センター費ということで、学級数の増加によって、南小、五条川小、各学級が1学級ずつ増えるということをお聞きいたしました。ちょっと心配するのが、今回は配送コンテナが不足するという事なんですが、学級数が増えるということで、細かいことで申し訳ないんですが、食缶とか食器とかその他の備品もいろいろあると思うんですが、その辺の関係はよろしいのか、ちょっとお尋ねいたします。

◎学校教育課長（近藤玲子君） このたびコンテナが増えるということに伴って、改めて食缶、食器の数についても確認をさせていただいたところ、不足するような状況にはないことを確認しております。

◎委員（井上真砂美君） 給食関係以外にも様々な、机、椅子等いろいろあると思うんですけれども、そちらのほうも確認していただけていると確認して、私のほうは納得させていただいてもよろしいでしょうか。

◎学校教育課長（近藤玲子君） 今回の学級数が増えることによって学級について必要な備品等についても確認をして、新学期にスタートできるような状況であるということで確認ができております。

◎委員長（黒川 武君） 他に質疑はございませんか。

◎委員（梶谷規子君） 学級数が増えるという具体的なところでお聞きしたいんですが、五条川小が、1年生がまた3学級になるといううわさを聞きますので、1年生かなと思いつつながら、南小は、今度4年生まで35人学級という



ことで、そこでクラスが増えるというところなんでしょうか、お知らせください。

◎学校教育課長（近藤玲子君） 南小におきましては、これまで3年生が70人であったところが、4年生になる段階で71人となる。35人学級が令和4年から小学校4年生まで拡大をしますが、35人学級なものですから、70が71になったことで2クラスから3クラスに増えるというような状況となっております。

◎委員長（黒川 武君） 他に質疑はございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（黒川 武君） 以上で、款9教育費についての質疑を終わり、歳出についての質疑を終結します。

続いて、歳入についての質疑に入ります。

質疑はございませんか。

◎委員（木村冬樹君） 県支出金についてお聞かせください。

げんき商店街推進事業費補助金につきましては、以前も質疑をさせていただきましたけど、この県の総額の予算がどの程度あって、例えば自治体ごとに、結構使い勝手がいいというふうにこの間の説明で……。

◎委員長（黒川 武君） 木村委員、発言の途中でございますが、ちょっと担当が不在でございますので、しばらくお待ちください。

暫時休憩します。

（休 憩）

◎委員（木村冬樹君） 県支出金についてお聞かせください。

げんき商店街推進事業費補助金につきましては、以前もお聞きしましたが、上限額が1,400万円ということで非常に大きな財源になりますし、非常に使い勝手がいい、商工振興のためには様々なことで活用できるというふうにお聞きしているところです。

それで、県の予算については総額でどのぐらいあって、例えば一つの市町村が年度内に何回も申請していくことが可能なものなのかどうか、年度当初でこういうのを使うということも含めて、今後の活用なんかができるのかどうかという点についてお聞かせいただきたいと思えます。

◎商工農政課統括主査（今枝正継君） こちらの県補助金につきましては、総額については現在手持ちで把握はしておりませんが、こちらの商品券事業に関しましては、プレミアム分を上限2分の1の1,400万、こちらを上限として1回に限り使用できるというような形になっております。

〔発言する者あり〕

◎商工農政課統括主査（今枝正継君） 年度内に1回のみとなります。

（音声欠落）

◎委員長（黒川 武君） 以上で、歳入についての質疑を終結いたします。  
お諮りします。

委員間討議を省略したいと思いますますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（黒川 武君） 御異議なしと認め、委員間討議を省略します。  
次に、議案に対する討論に入ります。

討論はございませんか。

〔挙手する者なし〕

◎委員長（黒川 武君） 討論はないようですので、直ちに採決に入ります。

議案第34号「令和4年度岩倉市一般会計補正予算（第1号）」について、  
賛成の委員の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

◎委員長（黒川 武君） 挙手全員であります。

採決の結果、議案第34号は全員賛成により原案のとおり可決すべきものと  
決しました。

以上で、当委員会に付託されました議案は議了いたしました。

なお、本委員会の委員長報告の文案につきましては、正・副委員長に御一  
任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎委員長（黒川 武君） 御異議なしと認め、そのように決しました。

以上で、財務常任委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。